

製品名: Nur77 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab14991

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	65-70kDa

抗原情報

遺伝子名	NR4A1
別名	NR4A1; GFRP1; HMR; NAK1; Nuclear receptor subfamily 4 group A member 1; Early response protein NAK1; Nuclear hormone receptor NUR/77; Nur77; Orphan nuclear receptor HMR; Orphan nuclear receptor TR3; ST-59; Testicular receptor 3
遺伝子 ID	3164.0
SwissProt ID	P22736
免疫原	抗血清はヒト核受容体 NR4A1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 317-366

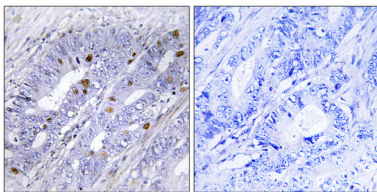
背景

この遺伝子は、ステロイド-甲状腺ホルモン-レチノイド受容体スーパーファミリーのメンバーをコードしています。発現は、ヒトリンパ球におけるフィトヘマグルチニン、および活性化停止線維芽細胞における血清刺激によって誘導されます。コードされているタンパク質は核転写因子として作用します。このタンパク質が核からミトコンドリアへ移行することでアポトーシスが誘導されます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2011年1月]、機能：オーファン核受容体、誘導：成長刺激剤による、類似性：核ホルモン受容体ファミリーに属する、類似性：核ホルモン受容体ファミリー NR4 サブファミリーに属する、類似性：核受容体 DNA 結合ドメインを 1 つ含む、サブユニット：GADD45GIP1 と相互作用する、組織特異性：胎児の筋肉および成人の肝臓、脳、甲状腺

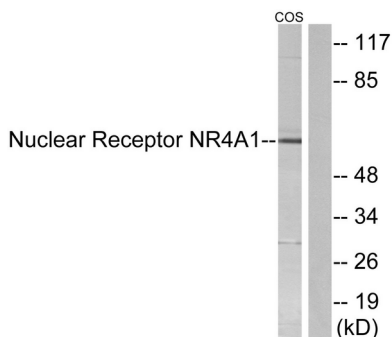
研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;

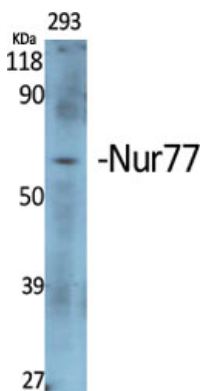
画像データ



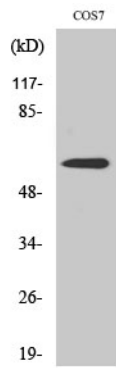
核受容体 NR4A1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



核内受容体 NR4A1 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右のレーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Nur77 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。



Nur77 ポリクローナル抗体を使用した COS7 細胞のウェスタン ブロット分析。